

地域文化を未来につなぐ

学校と郷土芸能保存団体の連携

文化振興課 ☎(94)2152

自然豊かな田園風景に恵まれた本市では、各地区で民俗芸能が生まれ、長年継承されてきました。ところが、近年の少子高齢化などにより、これまでのような継承が難しくなりつつあります。今月号では、学校と地区の保存団体が連携して、郷土芸能の継承に努めている取り組みを紹介します。

稲の順調な生長を願う 「仁井田田植え踊り」

仁井田地区には「仁井田田植え踊り」と呼ばれる郷土芸能が伝えられており、江戸時代の元禄年間(1688～1703年)から始まったとされています。

田植え踊りは、稲の順調な生長を願い、豊作を祈る踊りで、当時の人々の生活と深い関わりがあり、唄と踊りで構成されています。古くは県内



芭蕉まつりで披露した仁井田田植え踊り

各地で行われていましたが、市内では仁井田地区のみとなりました。

このため、仁井田田植え踊りを後世に長く伝えていくた

太鼓の音が鳴り響く 「榊衝神社太鼓獅子」

榊衝地区には「榊衝神社太鼓獅子」と呼ばれる郷土芸能が伝えられており、江戸時代の元禄年間に現在のよう形になったと言われています。

太鼓獅子は、旧暦のうるう年に、榊衝神社の本祭りの際に行われる神輿渡御で披露され、百足獅子とそれに続く艶



小気味よい太鼓の音色が鳴り響く榊衝神社太鼓獅子

やかな衣装を身にまとった子どもたちの小気味よい太鼓打ちが特徴です。

古式な形態を残しており、昭和43年に旧長沼町(現須賀川市)の無形民俗文化財に指定されました。

平成30年には、長沼東小と「榊衝神社太鼓獅子保存会」が連携して太鼓獅子に取り組み、お披露目を開催しました。

榊衝地区以外から通う児童たちにも学区内の伝統行事に触れてもらうことを目的としたこの行事には、1年生から

6年生までの約30人が参加し、6年生が大太鼓、5年生以下が小太鼓を演奏しました。

県指定重要無形民俗文化財 「古寺山自奉楽」

「古寺山自奉楽」は、上小山田地区に伝わる郷土芸能で、宝暦2年(1752年)に始まったとされています。

古寺山自奉楽は、田楽芸である「平鍛踊り」と「田植踊り」に、優美な「獅子舞」が伴う構成が特徴的であることに加え、



自奉楽で風流のはじめ館オープンを華やかに飾りました

それぞれの演技が優れており、昭和49年に県の重要無形民俗文化財に指定されました。

大東小では、本年度から「古寺山自奉楽保存会」と連携し、4年生の総合的な学習の中で自奉楽を学んでいます。

この授業では、保存会の皆さんから自奉楽の歴史などを学び、唄と踊りの指導を受けました。その成果を10月24日の学習発表会で披露しました。

更なる継承に向けて

市では、学校との連携事例を踏まえながら、各地域の実情に応じた郷土芸能の更なる継承に向けて、地域の皆さんと一緒に考えていきます。

宝くじ助成事業を活用したまちづくり

自治総合センターでは、地域のコミュニティ活動の活性化を図るとともに、宝くじの普及・広報活動のためにコミュニティ助成事業を行っています。

地域活動に必要な防災体制を整備

本年度は、八幡町自主防災会が宝くじ助成金の交付団体に採択され、この助成金で防災やコミュニティ活動に必要な災害用ガス釜、テントなどを整備しました。

万一の事態に対する住民の安心感が得られるだけでなく、地域住民の防災意識の啓発にもつながっています。

宝くじの助成金は、地域コミュニティ活動の発展に大いに役立てられています。

☎企画政策課 ☎(88)9131



教えて! エステイジーズ 「SDGs」

持続可能な社会を目指した取り組み[SDGs]17のゴールをシリーズでお知らせします。
☎企画政策課 ☎(88)9111

●目標11「住み続けられるまちづくりを」

11 住み続けられるまちづくりを
都市部は便利な反面、人口の集中で様々な問題が発生します。現在、世界人口の半数以上が都市部に集中し、2050年には約70%まで増加すると予想されています。

安全に住み続けるために、災害対策や人口減少対策などを住民参加型のまちづくりで進めることが大切です。
市の主な事業 防災体制推進事業、地域コミュニティ活性化推進事業など

●目標12「つくる責任つかう責任」

12 つくる責任つかう責任
毎年、世界で生産される食料の約3分の1が消費されずに廃棄され、年間約800万トンのプラスチック製品が、自然界で分解されずに海に流出しているという試算があります。

深刻化する環境問題を解決するために、食品ロスや廃棄物の削減、リサイクルへの取り組みが重要です。
市の主な事業 ごみ分別推進事業、環境意識啓発事業など

新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOAのご利用を



感染者と接触した可能性について通知を受け取ることができます。

感染の可能性をいち早く知ることで、早期の検査受診や外出自粛など適切な行動を取ることができます。

—厚生労働省—



もう一度おさらい!! 「新しい生活様式」日常生活での徹底と継続が大切です

| | | | | |
|------------|--------------------|-------------|-------------------|-------------|
| 密閉は避ける | 密集は避ける | 密接は避ける | 正面は避ける | 移動先の感染状況に注意 |
| こまめに換気 | 距離を取る | マスクの着用 | せきエチケット | 手洗い手指衛生 |
| 出かける前に体温測定 | 熱や風邪の症状がある場合は外出しない | 誰とどこで会ったかメモ | オンライン活用(通販やテレビ会議) | 買い物は少人数で |
| 電子決済の利用 | ティイクアウトやデリバリー活用 | 料理は個別の皿に | 会話は控えめに | テレワーク(在宅勤務) |
| 時差通勤 | 自転車や徒歩での移動 | 接触確認アプリの活用 | | |